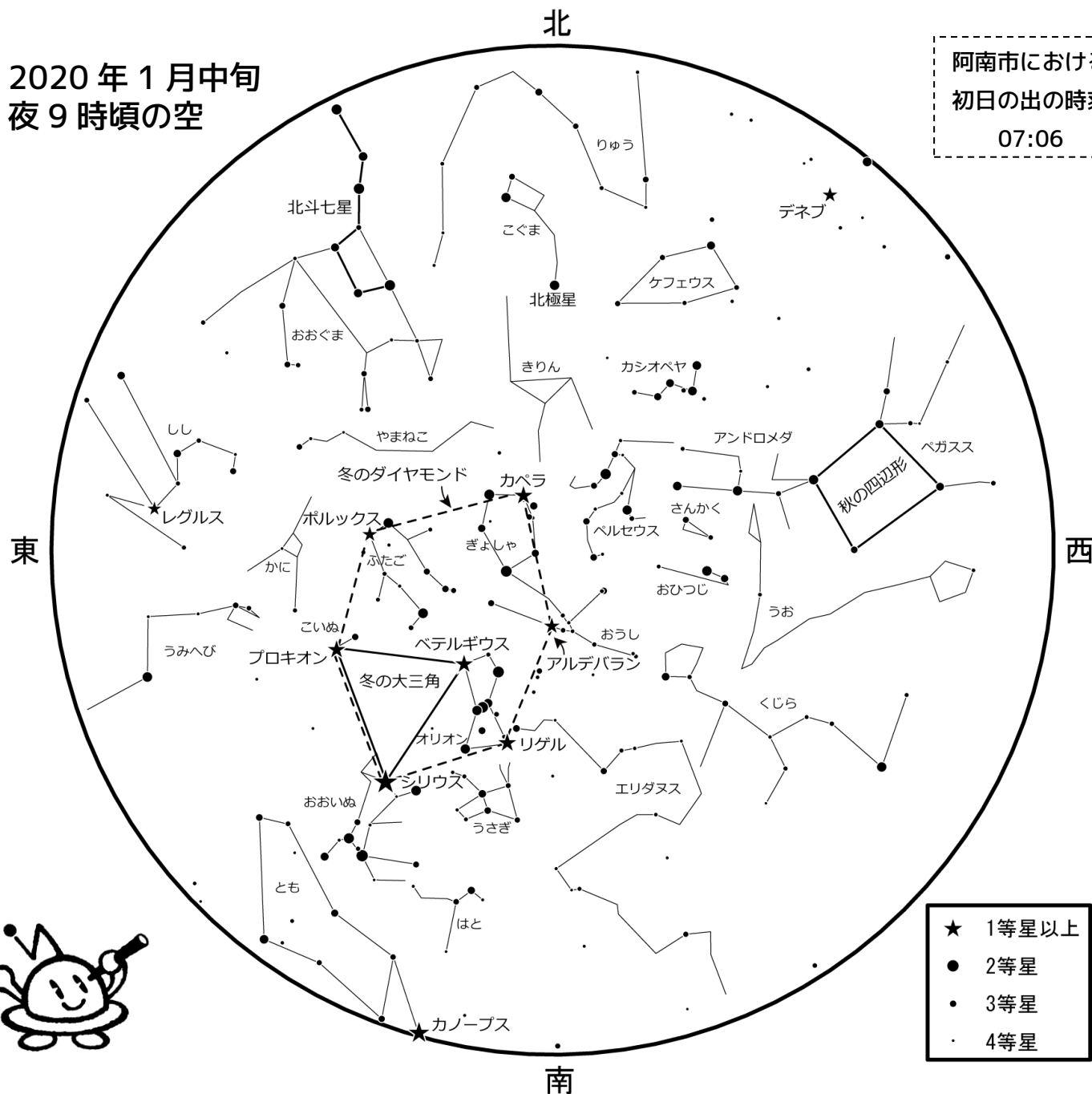


阿南市科学センター 1月の星空案内

2020年1月中旬
夜9時頃の空

阿南市における
初日の出の時刻
07:06



冬の星座は明るい星が多く、まるで宝石を散りばめたような美しい星空が広がります。オリオン座には二つの1等星、赤い星ベテルギウスと青白い星リゲルが輝いています。徳島県から見える星座の中で2つの1等星が含まれているのはオリオン座だけです。ベテルギウスを取り囲むように6個の1等星が並んでいます。リゲル（オリオン座）、全天で最も明るいシリウス（おおいぬ座）、プロキオン（こいぬ座）、ポルックス（ふたご座）、カペラ（ぎょしゃ座）、アルデバラン（おうし座）。この6個の1等星を結んでできる大きな六角形が冬のダイヤモンドです。ぜひ、合計7個の1等星を探してみてください。

天体観望会の予約・お問い合わせ先

阿南市科学センター 徳島県阿南市那賀川町上福井南川淵8-1 電話 0884-42-1600

◇ 月の満ち欠け

名称	上弦の月	満月	下弦の月	新月
形状				
見える日	1月3日	1月11日	1月17日	1月25日

◇ 惑星について

名称	水星	金星	火星	木星	土星
見どころ	1月下旬、日没後南西のごく低空で見える。	日没後、南西の空に見える。	夜明け前、南東の空に見える。	1月下旬の夜明け前、南東のごく低空で見える。	見かけの位置が太陽に近く、観察には適さない。
明るさ	約-1等	約-4等	約1.5等	約-2等	約0.5等

◇ 113 cm望遠鏡で撮影した冬の天体 【かに星雲 (M1)】

太陽より8倍以上の質量を持つ恒星は、一生を終える時、**超新星爆発**を起こします。その後に残された星雲状の天体を**超新星残骸**といいます。

かに星雲は、**おうし座**の角の先にあり、1054年に起こった超新星爆発により造られました。この時の超新星爆発はとても明るく、昼間でも見えたそうです。日本においても、鎌倉時代の藤原定家(1162-1241)が書いた**明月記**の中に、伝聞としてこの超新星の記録があります。



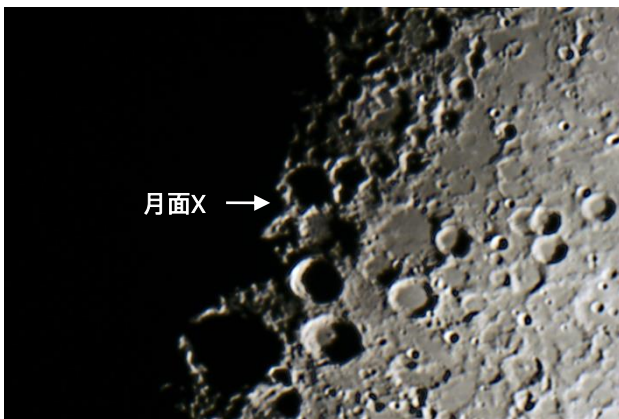
図1:かに星雲 (M1)

◇ 天体観望会で注目の天文現象 【月面X (エックス)】

2月1日(土)の定期観望会では、**月面X**を観望できます。月面Xとは、半月ごろの月面の欠け際にアルファベットのXの文字が浮かび上がる現象です。

月の欠け際は月の朝方や夕方にあたるため、太陽の光が横から当たっている状態です。月面Xは、周りにある複数の**クレーター**の外壁が横からの太陽の光で照らされることで浮かび上がります。

今年の定期観望会で月面Xを観望できるのは2月1日(土)だけです。特に20時の回が最も見ごろです。ぜひ、月面Xを四国最大の113 cm望遠鏡で観望してみてください。



月面X
(2019年12月4日、113 cm望遠鏡で撮影)